

<p><b>3. 外国人学校との交流について</b></p> <p>神戸というまちには、カネディアン、聖マリスタ、中華同文などといった国際色豊かな学校がある。</p> <p>それらの学校と市立小・中学校との交流について伺いたい。</p> <p>例えば、中華同文学校へ1ヶ月程度通ったり、中華同文学校の子どもを1ヶ月受け入れたりすることは、外国の文化そのものに触れることになると思うが、見解を伺いたい。</p> <p><b>(要望)</b></p> <p>教育課程がどうこうという問題ではなく、同じ年代の子どもたちが神戸というまちに住み、市民という絆を持っているということが大切なのであり、どういう風に交流を行っていくかということ、教育委員会や国際文化観光局で相談していただきたい。</p> <p>是非取り組んでいただきたい。</p>	<p>森本 指導部長</p>	<p>国際学校との連携については、教育課程そのものに違いがあるため、交流授業等を行うことは難しい。</p> <p>しかし、震災時の経験にもあるが、住民同士のふれあい、地元の方との交流を深めるような取り組みは行われている。朝鮮入学校と周辺地域の小学校との交流行事などが行われているところもあり、同じ地元・同じ地域を中心とした交流が育まれている。</p> <p>しかしながら、教育委員会が主導となって生徒の派遣・受け入れなど行うことは、教育課程自体が違うため、難しいと考える。</p>
--	--------------------	--